

1月2日(木)

壮快な走りので
新年のスタート



▲新年のスタートにふさわしく壮快な走りを見せる小学生たち

田原市陸上競技協会主催の**渥美半島新春マラソン大会**が渥美運動公園で開催されました。今年で35回目を迎えた新年恒例の走り始め行事には、市内外から約250名が参加。家族らからの温かい声援を受けた参加者は、みんな力走を見せていました。

1月3日(金)

遊び初めは
サンテパルクから



▲しっかりと狙いを定めて力強く餅つきをする参加者

サンテ新春フェアが開催されました。恒例の餅つき大会には、参加者の長い列ができ、つきたてのお餅をおいしそうにほおばる姿が見られました。ほかにも、キャラクターとの触れ合いなど多彩なイベントが行われ、参加者は一日を満喫した様子でした。

◆ニューイヤー駅伝で7位入賞!

◆第58回全日本実業団対抗駅伝競走大会
(群馬県前橋市「1/1」)

全国の実業団日本一を決める『ニューイヤー駅伝』が、群馬県庁前を発着点とする7区間(100km)で開催されました。

37チームが参加して行われた本大会には、今年も地元**トヨタ自動車陸上長距離部(田原工場所属)**が出場しましたが、健闘も及ばず7位という結果でした。

全7区間のコースの中でも、1番距離が長くペース配分が難しい4区(22km)は、レースを左右するともいわれ、各チームのエースが出場する区間。その4区を任された宮脇千博選手は、存在感を十分に見せつける走り、見事、区間賞を獲得しました。



▲エース区間(4区)で区間賞を獲得した宮脇選手

【宮脇選手のコメント】応援ありがとうございました。初めて走るエース区間で区間賞が取れたことは自信になりましたが、チームの順位には納得がいきません。来年こそ優勝できるように頑張りますので、今後とも変わらぬ応援をよろしくお願いします。